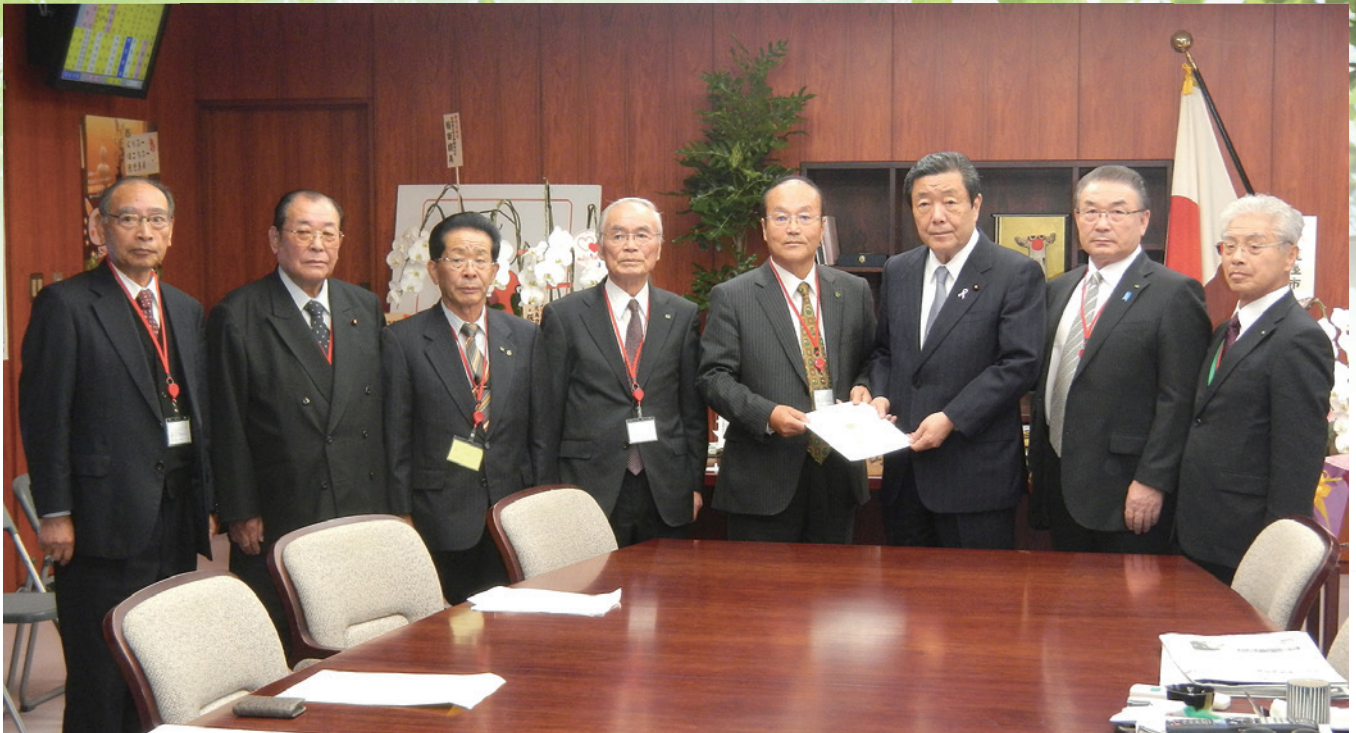


# 予算確保の要請活動



11月26日、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会（会長：佐貝全健山形県土連会長）の各道県代表者が、森山裕農林水産大臣を訪れ、農業農村整備関係予算の確保と東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を行った。

森山大臣は、政府のTPP総合対策本部が25日に決定した大綱に言及し「TPP交渉が大筋合意したが、政府として輸出戦略にしっかり取り組む。東北、北海道の皆さんは米どころであるが、稲作以外の例えば畜産などもぜひ頑張っていたきたい」と述べ、高品質の農畜産物については、国際競争力強化に向けて政府が後押しする姿勢を強調した。

さらに「安倍首相からは『現場の皆さんに寄り添って、しっかりとした対策を考えるように』と指示を受けた。農業を成長産業化させるという産業政策、農村集落をどう維持発展させるかという地域政策を車の両輪とする大原則を忘れず、しっかり対応する」と力強く表明した。その後は財務省と、27日には復興庁を訪れ同様の要請活動を行った。要請書の内容は以下の通り。

## 要 請 書

- ・ 新たな農業政策の実現に向けた、平成28年度農業農村整備事業関連当初予算の十分な確保
- ・ TPP大筋合意に伴う国内農業への影響を過小評価することなく、十分な国内対策を実施すること
- ・ 東日本大震災による農地・農業用施設に係る復旧・復興事業が完了するまでの必要な財源確保と十分な予算措置



# 農業農村整備の集い

## － 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて －



▲開会宣言を行う高貝全土連副会長(本学会長)

11月27日砂防会館別館「シェーンバッハ・サボア」で、平成28年度当初予算の確保に向けた「農業農村整備の集い」が開催され、全国から関係者約800名が参集した。

高貝久遠全土連副会長の開会宣言に続いて、二階俊博全土連会長が挨拶に立ち「『闘う土地改良』には2つの意味がある。1つは予算を取り戻すこと。今年は、大臣以下、農林水産省にご理解いただき1,000億要求したが、復活まであと1,300億ぐらい残っている。もう1つは、二度と選挙に負けないこと。地元の皆さん、農業関係者の皆さんに十分理解をいただいて、我々の政策実現のため団結して戦いに挑む決意である」と、平成22年度に大幅削減された土地改良関係予算の復活に向けた決意を述べた。



▲二階全土連会長

また、森山裕農林水産大臣、稲田朋美自民党政調会長からの力強いご祝辞をいただくとともに、駆け付けていただいた多くの国会議員の皆様のご紹介などが行われた。



▲森山農林水産大臣

引き続き、京都大学大学院の浅野耕太教授による「見直そう！国富のみなもと土地改良」と題した基調報告、農林水産省からは11月25日に閣議決定された「総合的なTPP関連対策大綱」の説明、進藤金日子氏（全国水土里ネット会長会議顧問）からは、全国津々浦々の土地改良最前線からの切実な声についての状況報告が行われた。

その後、要請文提案と採択が行われ、ガンバロウ三唱で閉会し、ブロック別に関係省庁への要請活動が行われた。



▲秋田県からの参加者

# 農林水産関係予算概算決定のポイント

(H27.12.24現在)

## 平成28年度農林水産予算の骨子

### 総括表

区 分	27年度 予算額	28年度 概算決定額 A	(27年度補正追加額)	
			補正額 B	A+B
	億円	億円	億円	億円
農林水産予算総額 (対前年度比)	23,090 -	23,091 100.0%	4,008 -	27,100 117.4%
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,592 -	6,761 102.6%	1,448 -	8,209 124.5%
一般公共事業費 (対前年度比)	6,399 -	6,569 102.6%	1,290 -	7,859 122.8%
災害復旧等事業費 (対前年度比)	193 -	193 100.0%	158 -	351 182.2%
2. 非公共事業費 (対前年度比)	16,499 -	16,330 99.0%	2,560 -	18,890 114.5%

(注) 1. 金額は関係ベース。  
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。  
※ 28年度においては、上記のほか、農林水産分野においても活用可能な地方創生推進交付金を創設するための提出額(62億円)がある。

### 公共事業費一覧

区 分	27年度 予算額	28年度 概算決定額 A	(27年度補正追加額)	
			補正額 B	A+B
	億円	億円	億円	億円
農業農村整備 (対前年度比)	2,753 -	2,962 107.6%	990 -	3,952 143.6%
林 野 公 共 (対前年度比)	1,819 -	1,800 99.0%	220 -	2,020 111.1%
治 山 (対前年度比)	616 -	597 97.0%	49 -	647 105.0%
森 林 整 備 (対前年度比)	1,203 -	1,203 100.0%	171 -	1,374 114.2%
水産基盤整備 (対前年度比)	721 -	700 97.0%	80 -	780 108.1%
海 岸 (対前年度比)	40 -	40 100.0%	- -	40 100.0%
農山漁村地域整備交付金 (対前年度比)	1,067 -	1,067 100.0%	- -	1,067 100.0%
一般公共事業費計 (対前年度比)	6,399 -	6,569 102.6%	1,290 -	7,859 122.8%
災 害 復 旧 等 (対前年度比)	193 -	193 100.0%	158 -	351 182.2%
公共事業費計 (対前年度比)	6,592 -	6,761 102.6%	1,448 -	8,209 124.5%

(注) 1. 金額は関係ベース。  
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

## 平成27年度補正予算 (990億円)

### 【ポイント】

- ・26年度補正予算(193億円)の5倍を確保
- ・TPP対策は来年度以降も継続の見込み

### 【予算の概要】

- TPP対策 940億円
  - ・大区画化・汎用化 370億円
  - ・平場・中山間地域の水田、畑地、樹園地の整備 406億円
  - ・草地整備 164億円
- 防災・減災対策 50億円
  - 農業水利施設の洪水被害防止対策・耐震対策 (補助事業)

事業名	予算額 (億円)	補助率 ・実施主体	事業概要
農業競争力強化 基盤整備事業	565	・1/2等 ・都道府県等	○農地の大区画化や排水対策により、農地集積・集約化や農業の高付加価値等を推進 【主な内容】 区画整理、暗渠排水、農業用排水施設等
農業水利施設 保全合理化事業	15	・定額、1/2等 ・都道府県等	○水利用の効率化・水管理の省力化、農業水利施設の長寿命化を推進 【主な内容】 農業水利施設の整備等
農村地域防災 減災事業	40	・定額、1/2等 ・都道府県、 市町村、土 地改良区等	○地震や豪雨等による災害を防止し、地域の防災力向上を図るための防災・減災対策を実施 【主な内容】 ため池や排水機場等の整備

## 平成28年度当初予算 (3,820億円)

### 【ポイント】

- ・総額232億円(うち公共予算210億円)増額
- ・公共予算は27年度当初予算増額分(64億円)の3倍を確保
- ・補正予算と合わせて27年度当初予算より1,222億円増

### 【予算の概要】

- 農業農村整備事業 2,962億円(210億円増)
  - ・農村地域防災減災事業 508億円(228億円増)
  - ・農業競争力強化基盤整備事業 365億円(24億円増)
  - ・農業水利施設保全合理化事業 69億円(24億円増)
- 農山漁村地域整備交付金 735億円(前年同額)
- 農地耕作条件改善事業 123億円(23億円増)

(補助事業)

事業名	予算額 (億円)	補助率 ・実施主体	事業概要
農業競争力強化 基盤整備事業	365	・1/2等 ・都道府県等	○農地の大区画化や排水対策により、農地集積・集約化や農業の高付加価値等を推進 【主な内容】 区画整理、暗渠排水、農業用排水施設等
農業基盤整備 促進事業	61	・定額、1/2等 ・都道府県、 市町村、土 地改良区、 農地中間管 理機構等	○畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の農地の整備、老朽化した農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施 【主な内容】 簡易な区画拡大、暗渠排水、客土、除礫等
農業水利施設 保全合理化事業	69	・定額、1/2等 ・都道府県等	○水利用の効率化・水管理の省力化、農業水利施設の長寿命化を推進 【主な内容】 農業水利施設の整備等
農村地域防災 減災事業	508	・定額、1/2等 ・都道府県、 市町村、土 地改良区等	○地震や豪雨等による災害を防止し、地域の防災力向上を図るための防災・減災対策を実施 【主な内容】 ため池や排水機場等の整備やハザードマップの作成等



# 秋田県土地改良事業推進大会を開催



10月30日、鹿角市記念スポーツセンターにおいて、平成27年度秋田県土地改良事業推進大会が開催された。あいにくの雨模様の中、全县よりおよそ1100名もの関係者が結集し、中島副知事、近藤県議会副議長、児玉鹿角市長、西川衆議院議員（自民党農林水産戦略調査会長）などのご来賓の皆様がご臨席された。



▲高貝会長

事業の推進に功績のあった団体及び個人と、秋田県21世紀創造運動表彰が行われた。

引き続き、中島副知事を始め、ご来賓の皆様よりご祝辞をいただいた。

正木副会長による開会宣言の後、高貝会長が「食料自給力の確保や国土強靱化などのためには土地改良事業の着実な推進が不可欠であり、そのためには予算の確保が必要である」と挨拶を述べた。

次いで、土地改良

ご来賓のうち、西川公也衆議院議員からは、農業所得向上に向けたお話とTPP対策について熱のこもったお言葉をいただいた。

更に、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問から、食料の国内供給力向上のためには土地改良予算の確保が必須であり、また農山漁村の保全対策も不可欠である、とのお話があった。



▲西川公也衆議院議員



▲高貝会長と握手する進藤金日子氏

## 農業用施設賠償責任保険・団体傷害保険制度のご案内

みなさまが、安心して『施設維持および管理活動』に従事していただくための平成28年度団体保険制度をご案内いたします。

**安心**  
安心の補償

### ●農業用施設賠償責任保険 <相手への賠償>

- ◆土地改良区等が所有・使用・管理する施設等が原因となる第三者への賠償事故による損害を補償します。
  - ◆土地改良区等が実施する草刈り・清掃などの施設維持・管理活動中に作業員のミスによる第三者への賠償事故による損害を補償します。
- ※「賠償事故」とは、法律上の損害賠償責任が発生した事故のこと。

### ●団体傷害保険 <ご本人の賠償>

- ◆土地改良区等が実施する草刈り・清掃・施設の保守管理などの施設維持・管理活動中に偶然な事故でケガをした場合、保険金をお支払いします。
- ※健康保険、生命保険、政府労災など他の保険や、加害者から受ける損害賠償金などとは関係なくお支払いします。